

学校法人沼津頌栄学園 認定こども園しょうえい幼稚園

2021年度 自己評価表

評価者	園長 石川望 副園長 浅井喜世美 主幹教諭 2名 担任10名 副担任2名 補佐7名	
1 経営理念	キリスト教保育	あそび・あそぶ・あそぼうから創造（自由）保育へ
	創造（自由）保育(統合保育)	－みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を－
2 経営目標・評価項目・評価	☆評価基準 よくできている ◎ できている ○ あまりできていない △ 全くできていない × 未記入 未	

つながる基礎	【経営目標】 1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。					
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は礼拝・お祈りを楽しい中にも静かに行き、子どもたちの心を落ち着かせる。	8	13	2		<ul style="list-style-type: none"> ・元気いっぱいみなさんですが、礼拝の時間は落ち着いてお心を神様に向けて礼拝できていたと思います。 ・長く座っているのが苦手なお友だちには、教師が側に付きその時のその子のペースと一緒に参加できるよう見守りました。 ・アドベントのステキな雰囲気、年少さんにも体験させたいと思っていたので、クリスマス前の合同礼拝に参加できて良かったです。きっと子どもたちの心にも残っていると思います。 ・年齢も小さい子達なのでなかなか礼拝は出来なかった。 ・園児の動きを把握しながら自ら見本を見せている。 ・食事、おやつの際のお祈りでは、子ども達も静かに手をあわせ目を閉じることができています。 ・食前のお祈りやお友達の事をお祈りするなど各学年に合わせて行っている様子があります。 ・出来る範囲で子どもたちもできていた ・心を落ち着け、神様へむけて礼拝できるよう心がけている。 ・礼拝中、落ち着かない様子、ふざける様子ある時もあるので、集中できるようにしたい。 ・メリハリをつけながらできるように心がけている。 ・まだお祈りをやっていません。 ・日によっては静かに落ち着かない子もいる。 ・子どもの目線でお祈りするよう心がけています。 ・座ってられない子、喋ってしまう子が出てしまうがなかなか改善できずにいる。 ・3学期になり、お昼の時に少しずつお祈りを始めた。 ・2月頃から給食前にお祈りをやり始めたばかりなのでまだ0歳児はキョトンとしています。 	0歳児から食前のお祈りはするようにならせます。
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、子どもたちが自由遊び後、スムーズに片づけられるよう促す。	10	12		1	<ul style="list-style-type: none"> ・お部屋での片付けは、子どもたちのやる気が出るように先生方が工夫（チーム対決やお片づけチャンピオン発表など）して下さり、スムーズに終わるようになりました。先生方がみんなを沢山褒めて下さる所が素敵だなと思います！ ・外遊びの片付けは、広い範囲なので一斉の声かけで伝わらない事があり、個別で声をかけていきました。 ・砂場の道具がわんぱく広場の色々な所に落ちているのが、いつも気になります。 ・もう一度各クラスで子どもたちにお話をして貰えたら嬉しいです。砂場ワゴン、道具を片づけやすくなってすごく良かったです。 ・歌を歌ったり、競争したりと遊びの延長になるように工夫した。 ・1人1人を見ながら誉めてあげる。なかなか切り替えが難しい子供は四苦八苦する。 ・教師の言葉かけに、一層の工夫を。 ・2.3回の声かけでカゴの中におもちゃをいれはじめ、子供達で声をかけあい（教師のマネ）次する事を伝えあっている姿がみられます。 ・子ども達がわかりやすいように写真や絵等を箱や棚につけている。 ・教師も一緒に行き、きれいになった部屋を一緒に喜んだりしている。 ・片付けをせず、お部屋に戻る子もいる。楽しく片付けできるように声かけ工夫したい。 ・いつも声をかけをしながら一緒に片付けています。 ・わんぱく広場でのお片付けの時、年長さんが最後に見回りしてくれて助かる。 ・わんぱく広場のお片付けの時、年長さんが最後に見回りしてくれるのが良かった。 ・お片付け競争などして楽しくお片付けできるよう心がけた ・個々に合わせた声掛けや援助を心がけています。 ・片付けの苦手な子も一生懸命やっている姿がよく見られるようになった。 ・まだまだ時間はかかってしまうが、声掛けをしたり見守っている。 ・常に言葉かけをして一緒に片付けています。 	<p>午後の片付けの時間を統一する。 (13時半には片付けてお部屋できよならをする)</p> <p>見えない所は必ず教師が点検する。</p>

評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、子どもたちが園生活のきまりが身に付くように援助すると共に、遊びを通して信頼関係を築く。	9	12	2		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の流れやきまりごとを子どもたちに丁寧に伝えて下さっていますが、細かい部分に気がつかずスルーしている事が多く気になります。 ・つつい注意ばかりになってしまうので、ほめたり、遊びながら覚えられるようにしたい。 ・次にする事を話してワクワクさせる ・園生活の決まりを、わかりやすくして身につけられるようにしたい。 ・外遊び、お部屋遊び共に子ども達が主体になって遊び始めた事柄に対し、寄り添う形で遊びを膨らませている先生が沢山います。 ・食事の支度、危ない事、入ってはいけない所などを覚える時も、先生方が少しづつ優しい声かけをしているので子ども達に届いていると思います。 ・仕草、表情、わかりやすい言葉で伝える。スキンシップを意識する。 ・常に一人一人とかがわりながら遊んでいます。 ・子どもたちとたくさん遊び信頼関係を築けるように心がけた ・目で見て分かるように、視覚的に伝えるようにしています。 ・検温→オムツ替え 外から帰ったら靴下、帽子を脱いで手洗いなど1つずつ時間をかけて一緒にしている。 ・言葉がけをして行っています。 	園生活のきまりについて、教師間で統一する。
教師は子どもたちが保護者と離れる寂しさや友だちとけんかした時の悲しさ、その他様々な気持ちや思いを受け止め、共感する。	13	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの先生方みんな、しっかりと子どもたちの気持ちに寄り添えていると思います。 ・今はマスクで顔半分が隠れているので、私も表情や子どもたちへの声のかけ方に気をつけていきたいです ・抱っこやおんぶをしたり、子ども達の気持ちを受け止めるようにしたり、まだうまく話せなくてもその子なりの言葉で話せることを聞くようにした。 ・その時の状況を細かく説明し子どもの気持ちを説明する ・どんな時も子どもの気持ちを第一に保護者の方に話をしたり、本人にも言葉やスキンシップで伝えている先生方の姿を見るたびに自身もまずその様になりたいと強く思います。 ・友達とのケンカについては、それぞれの気持ちに寄り添って教師が仲立ちしながら関わっている。 ・気分転換できるよう工夫したり 共感して言葉もかけられたと思う ・喧嘩の時など、あちこちで立て続けにおこることもあり、教師が一人の時に余裕がなくなる時あった。 ・もっと子どもたちに寄り添って声かけできるようにしていきたい。 ・クラス全体を見て泣いてる子や一人遊びをしている子など寄り添うようにしています。 ・嬉しい悲しいなど子どもたちの気持ちに寄り添い声かけをしていった。 ・子どもの気持ちをくみ取って受け止めたり抱き締めたりして、注意するだけにならないように心がけています。 ・登園するのを泣く子には、日中たくさん遊べるようにもっと配慮してあげると良いと思った。 ・その場に応じての声掛けや、グューっと抱きしめたりしている。 ・一人一人に寄り添って言葉がけをしています。 	引き続き、子ども達に寄り添って気持ちを受けとめていく。

評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師はできるだけ毎日絵本の読み聞かせをする。	15	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生が毎日、お帰りの時間に絵本を読んで下さっています。 ・絵本が好きなお友だちが多いので、これからも沢山の本を読んで欲しいです。 ・給食前、お片付け後になるべく毎日読むようにした。 ・その時、みんなが気になっているものや興味あるもの、年齢にあったもの等選んで読んだ ・年齢に応じた内容や季節に合う中身が盛り沢山ある ・毎日 何冊かの本をお部屋遊びの時間に一緒に読んでいます。 ・給食前に担任の先生は必ず誰かの日常に繋がるエピソードのある本を選んで読んでいます。 ・朝の集まり、給食前等落ち着いている時に行っている。 ・毎日出来ている ・みんなのお気に入りの絵本、反応がいい絵本はリクエストが度々あり、何回も読み聞かせしたりした。 ・絵本の読み聞かせはやっていません。 ・バタバタして読めない時もあったが、なるべく読むようにした ・主担任にお任せしてしまっている。自分が主の時は絵本や紙芝居を読むようにしている。 ・3学期になったら…と考えていたがまだ出来ていない。個人的には読んでいるが、全体としてはこれから。 ・絵本の読み聞かせはしていません。 	どの教師も1対1や全体の読み聞かせをするよう心がけていきましよう。
教師は、絵本の貸し出しや絵本の読み聞かせを通し、子どもたちがたくさん絵本と出会うよう努める。 (345歳児対象) 012歳児は答えなくて大丈夫です。	12	7	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・お部屋でよく読むシリーズを借りていく友だちも多い。 ・毎週の絵本貸し出しやお帰りの時間の絵本タイムなど 沢山の絵本に出会える機会を作って下さっていると思います。 ・富士在住の先生は、富士の図書館で借りてきて読んで下さる事も多く、見た事がない絵本に出会う事もできました。 ※クラスの絵本の扱い方が気になったので、絵本を大事にできるよう、子どもたちに伝えて欲しいです。 ・園長先生セレクトの読み聞かせタイムが楽しかったため、色んなクラスを回って絵本を読んで下さると嬉しいです。 ・0.1.2はまだ貸し出しをしていないため。 ・子供達が集中し夢中になっている ・おやつ後など少し座って次の遊びを待つ時間は本を読む時間だと子供達もわかっていて各々好きな絵本を選んでいきます。 ・教師が読み聞かせをした本を選び 声を出し読める子もいます。 ・各学年に合った興味やブームに合わせて用意したり、読んだりしている。 ・自由遊びのときもたくさん絵本を読んだり 毎日読み聞かせはできている ・0歳児なのでやっていません。 ・こどもたちが好きな絵本を読むことが多かった。いろいろな絵本をもっと読めたらいいと思う。 ・新作の絵本や、その時興味のある絵本を購入してもらえて嬉しい。子ども達も喜んで見ている。 ・絵本が好きな子ども達が多く、新しい本を買ってもらえるのも嬉しい。 ・子どもの興味に合わせて絵本を選んでいきます。 ・絵本の内容を活かして子どもと会話することはあるが、まだまだだと思う。 ・絵本の読み聞かせはしていません。 	園全体で絵本を大事に扱うよう心がけましよう。

評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、子どもたちがお集まりや活動に積極的に参加できるよう促す。	11	9	2		<ul style="list-style-type: none"> ・集まりも早くなり、レクゲームなどもみんなで楽しめるようになった。 ・ワクワク、ドキドキ感を持たせる ・集まって移動する時、お部屋に入る前など色々な切り替えの場面でも遊びと取り入れながら過ごしています。 ・手遊び等楽しい雰囲気を作っている。 ・声かけをしています。 ・日によっては気が散ってお集まりの場所に来てもらえない子がいる。 ・集まり前にクイズなどやって楽しめるよう心がけた。 ・自ら子どもたちと一緒に楽しんで参加するようにしている。 ・活動に参加しきれない子に対してもう少し工夫すべきだった。 ・どういう声掛けをしたらみんなが集まれるか、考えながら日々やっている。 ・言葉がけをしながら参加しています。 	これまでのように工夫しながら言葉がけや導入をしていく。
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、子どもたちが遊びや活動を通し、たくさんの友だちとふれあい、仲を深めるよう支援する。	9	13	1		<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけでは無くお友だちの事も考えようと促す ・言い合いやケンカも仲良くなるチャンスとして、より深く理解したい。 ・コロナ禍で異年齢児との交流や行事が最小限ではあったので、子ども達が色々な経験を味わう機会は減っているのかなと思います。 ・声かけをしています。 ・年少さんのお店屋さんごっこや、節分ではりす組さんや年長さんの鬼周りなど、遊びや活動を通して0～5才児のお友だちが交流できて良かった。 ・感染症に気を付けながら異年齢児とのかかわりや友だち同士のかかわりを大切にしている。 ・外で遊ぶときなど、三輪車の後ろに乗せてもらったり、ボールで他学年と関わったりしている。 ・貸してやごめんね、ありがとうなどお友達との関わりに大切な言葉を教えてあげながら遊んでいます。 	異年齢とのふれ合いも引き続きたくさんしていく。

ゆたかな心	【経営目標】 1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。				
-------	--	--	--	--	--

評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、子どもたちが動物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じるよう見守る。	4	12	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・園内で生き物を育てている事で、子どもたちも貴重な経験ができていていると思います。成長やお世話を楽しむ姿は沢山見られるので、子どもたちと一緒に命の大切さを考える機会を作れたらいいなと思います。 ・わんぱく広場に出ることがなく、動物との触れ合いもなかなかできなかった。 ・今井先生にばかり頼ってしまっていました。みんなで一緒にお世話できるよう努めたい。 ・沢山の生き物を育てながら経験を通じて大変や大切を知らせる ・担当クラスはまだ生死について理解は難しいと思いますが、わくわく広場で捕まえた虫が綺麗な色の花にとまっている。成長したカタツムリを見つける。などの触れあいは毎日経験していて、そのきっかけではないかと思っています。 ・今年は、チャボの赤ちゃんの誕生や白いうさぎさんの死などいろんな経験があった。 ・今年は、チャボの誕生、うさぎとの別れなどいろんな経験ができた。 ・0歳児なのでやっていません。 ・かたつむりを最後まで見守れたらもっとよかった。 ・身近な動物の死や新たな生命の誕生を目の当たりにして、子ども達に感じる事が多くあったと思う。 ・去年は園で飼っている動物の死やヒヨコの誕生を通して、子ども達の中で命の大切さを感じられたと思う。 ・うさぎの死には折り紙のお花や、手紙など添えてお別れしてもいいのではと思った。 ・かたつむりの飼育やヒヨコの成長を見たり触れたりしながら共感したり発見を喜んだりできた。 ・そういう場面にまだ居合わせてない。 	<p>動物へのエサやり当番は、決まった当番のクラスが行うようにする。</p> <p>小さいお友だちも、できる範囲でエサやり等ふれ合いをつくる。</p>

評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、絵本などを通して子どもたちが平和への思いを強められるよう努める。	3	10	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりできていなかったのでも来年度は意識したいと思います。 ・平和がテーマの本を、お部屋で読んだり、誰かに戦争のお話を聞いたりしてみんなで考えたいです。 ・そのような機会がなかった。 ・わかりません ・平和の絵本は読んでいなかった。 ・絵本は読んでいません。 ・平和についてはまだ理解が難しいかと思いきやあまり伝えていない。 ・月齢的に難しいと思っている。 	ウクライナでの紛争が起こり、来年度はより子どもたちと平和について考えたり、絵本を読んだりしてほしい。

評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師はそれぞれのこどもの発達に合わせ適切な対応・指導ができるよう学び合う。	10	11	2		<ul style="list-style-type: none"> ・やなづめ先生がクラスに入って下さった時に色々アドバイスを下さるので、とても助かりました。フォローが必要なお友だちにもみんなで同じように対応できて良かったです。 ・主幹に聞いたり、調べたりするようにした。副担任とも話し合うことも多く、できたと思う。 ・たまに行う一斉保育で、お友だちの苦手を見つけた場合、苦手意識を持たぬよう、ほめたり一緒に行い、達成感を感じられるよう気をつけた。 ・発達状況により違いが有るので集団では中々難しく四苦八苦してます ・012満3の担任の先生方は 担当クラス以外の子供達の事も毎日よく見られていて 特性や好きなことなどよく知っています。なので、どの場面でもそれぞれに合わせた声かけや対応をされていて一貫性があると思います。 ・各学年の担任、副担任は話し合いを良くしていて、関わり方等共有している。 ・先輩の先生に相談したりして対応出来ていたと思う ・対応の難しいお友だちも多くいるため、適切な対応ができたかといわれると難しいかなと思う。教師会などで対応をもっとじっくり相談や解決策など話し合ったりしていきたいとおもう。 ・一人一人の発達に合わせて対応しています。 ・やなづめ先生に入っていたいたり、副担任と共に個人に合わせて工夫していった。 ・教師会で、対応の仕方アドバイスを頂けて為になる。やなづめ先生が来て下さるのもとても有り難い。 ・教師会などで、対応や指導についてアドバイスを頂いたり共有し合ったりしている。やなづめ先生のアドバイスもとても為になるので、これからも学び合っていきたい。 ・個々に合わせた援助が出来るように、担任間で情報を伝えあったり相談したりしている。 ・色々なことに対して、それぞれに出来ることが違うので、その子にあった関わりをしている。 ・一人一人に合わせて対応しています。 	<p>引き続き柳詰先生にアドバイスをいただきながら年齢に関係なく一人ひとりに合った対応をしていく。</p> <p>発達課題のあるお友だちや、医療機器を付けているお友だちについて、教師全体で把握できるようにしていく。</p>
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
教師は、子どもたちが自分の意見や考えを出すことができよう受け止め、同時にお友だちの意見を聞いたり思いを感じることができるよう促す。	7	13	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びでもたくさんアイデアを出してくれるようになり、ケンカも多いけれど、自分たちで考えたり我慢したり成長が見られる。 ・お互いの意見や尊重は聞き説明するが難しい事が多く大変だと感じる ・より楽しくユーモアを持って取り組みたい。 ・感情の出しにくい子、主張が強く目立つ子などそれぞれの特性を、担任の先生が場面ごと都度教えて下さいます。個々の声かけや反応をしやすかったです。 ・その子の気持ちに寄り添い声かけしています。 ・子ども達の声やアイデアを聞いたり話し合ったりして、テーマの活動が広がっている。 ・トラブルになったときは仲立ちして、お互いの気持ちを代弁したり受け止めたりしている。 ・物を取り合ったりした時に嫌だった気持ち、使いたかった気持ちなどをお互いに伝えるようにしている。 	<p>お友だちの意見などをゆっくり聞いて、次への成長へとつながるように取り組んでいく。</p>

信頼される幼稚園		【経営目標】					
		1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ちあう関係を作る。					
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見	
園は、しょうえいだより・しょうえいカレンダー・キッズリーを月1回発行する。	20	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・しょうえいだより、いつも楽しみにしています！ ・普段なかなか見ることができない各クラスの子どもの様子が伝わってきて、すごく楽しいです。 ・月間年間の行事がわかる ・キッズリーは保護者の方に喜ばれている。 ・細かいことはわかりません。 ・いつもありがとうございます！ ・しょうえいだよりの写真がなかなか撮れない。 	これらの情報を引き続き保護者に伝えていく。	
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見	
園は学期に1回保育参観を行う。(3.4.5才)送迎時、保護者とのコミュニケーションをとる。	9	10	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか直接会うことも少なくあまり取れなかった。 ・コロナ禍ですが、参観でお家の方と楽しい時間を過ごす事ができて良かったです。 ・送迎時は必ず担任、副担任どちらかが出て保護者に子どもの様子を聞いたり、伝えたりするように心がけた。 ・新型コロナで、出来ていない。 ・送迎時には 適度にその日の様子などをお伝えできたかと思います。様々な保護者がいる事を実感した1年です。マスクをしていると伝わりにくい事もあるので、自分の話し方や顔の表情は今後も特に気をつけたいと感じています。 ・コロナ禍で門での受け渡しになっているので以前の様に、落ち着いて話しがし難いところがある。 連絡帳は文章なのでお互いに思いが上手く伝わらない事もある。 その点を気をつけながら、保護者に理解してもらえるよう言葉添えしたり言葉に気をつける等工夫している教師もいる。 ・連絡帳が変わったことで、コミュニケーションも密になったように感じる。 ・連絡帳がどうまく気持ちや考えを伝えにくい。 	コロナのため年長は出来なかったが、その他の学年は何とか年1回行うことが出来た。	
評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見	
保護者と教師のコミュニケーションを深める。	7	9	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席の電話連絡も担任に回してもらうことでより子どもの様子を聞くこともできて良かった。 送迎の際はその日の些細な事も伝えるようにした。 ・保護者の気持ちをもっと受け止め、聞き上手になりたい。 ・保護者が参観や部屋に入る事がない時期なので、出来ていない。 ・このご時世だが、012も参観や懇談会などできると良いかも。 ・遅番の時は保護者と会い簡単な最近の様子など伝えてコミュニケーションを取るようにしている。 ・お迎え時會えることが少ないがお話できる時なるべく園の様子など伝えていった。 ・伝達事項だけでなく、ちょっとしたエピソードなども伝えるよう心がけている。 ・會える保護者にはなるべく直接話をしている。 ・担任ではないので保護者との交流があまりありません。 	これからも、電話や門での送迎はできるだけ担任が対応する。 012の参観や懇談会も取り入れるようにしていきたい。	

